

「清流の国ぎふ」文化祭2024さきがけプログラム

清流の国ぎふ

# 地歌舞伎

## 勢揃い公演 千種祭

2024年3月17日(日)

◆会場 **ぎふ清流座**(ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール)

◆開演 13時00分(開場12時00分)

◆上演外題・出演

13時00分(20分)

◆ **寿式三番叟**

加子母歌舞伎保存会(中津川市)

◆ **平家ゆ護島**

鬼界ヶ島の場(俊寛)

15時15分(30分)

◆ **特別プログラム**

◆ **勢揃いクロストーク**「熱演を振り返って」

加子母歌舞伎保存会(中津川市)

◆ **幕切りの儀**(閉幕式典)

加子母歌舞伎保存会(中津川市)

◆ 終演 16時15分(予定) 演目等は変更となる場合があります。



加子母歌舞伎保存会



安岐歌舞伎保存会



**イヤホン同時解説**  
演目の見どころやあらすじについて、  
分かりやすく解説します。  
地芝居大國ぎふ応援大使  
古典芸能解説者 葛西 聖司氏

**ライブ配信**  
公演の様子をぎふ清流文化プラザ  
YouTubeチャンネルで配信します。  
ぎふ清流文化プラザ  
YouTubeチャンネル

### 寿式三番叟

加子母歌舞伎保存会(中津川市)

「寿式三番叟」は江戸時代元禄期に、能の「翁」を元に義太夫曲に改曲されました。文楽などの人形浄瑠璃、また歌舞伎舞踊としても特別の祝儀物として大切に演じられてきました。始めに千歳・翁・姫が登場します。鶴と亀の齢を祝す舞があって、二人の三番が鳴物に合わせにぎやかに現れます。そして、二人の千歳が加わり、天下泰平・国土安穩・五穀豊穡を願い、舞台狭しと踊ります。最後の鈴の段になると、本日ご来場の皆様に福あれと、幸せの種蒔をし、本日の舞台を舞い清めます。

### ◆配役

- 翁 鈴木綾子 三番 伊藤孝道
- 姫 西尾天音(中津川市) 西尾昇
- 千歳 畑中寛子
- 鷹見靖子 後見 西尾鮎子
- 林紀代美 小倉恒平

### 平家ゆ護島

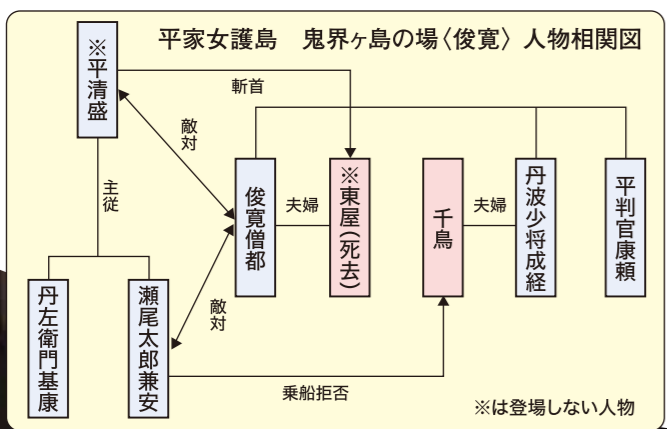
鬼界ヶ島の場(俊寛)

加子母歌舞伎保存会(中津川市)

ここは、遥かに日本の本土から離れた南の孤島。そこに三人の流人、丹波少将成経、平判官康頼、そして俊寛僧都。三人共に史上に名高い「鹿ヶ谷の陰謀事件」に加担して、平清盛の怒りを買って、流罪になった政治犯で、いつ許されるかわからない絶望的な日々を送っています。そこへ、都からの赦免の使い、瀬尾太郎兼安と丹左衛門基康が来ます。喜んだ三人でしたが、成経の妻となった千鳥の乗船を瀬尾に拒否され、千鳥は一人なげき悲しみます。それを聞いた俊寛は、非情な瀬尾を殺し、自分は島に残り、千鳥をかわりに船に乗せるのでした。三人を乗せて島を出る船。ただ一人絶望の孤島に残される俊寛。自分の人生を捨てても、人を救おうとする美しくも悲しい物語です。

### ◆配役

- 俊寛僧都 秦雅文 後見 梅田豊子
- 丹波少将成経 今井梓沙
- 平判官康頼 安江恒明
- 千鳥 安富加奈美
- 瀬尾太郎兼安 三浦正樹
- 丹左衛門基康 脇坂佳希
- 家来 桂川洋策
- 渡邊利枝



協力	振付指導 松本団女	顔師 松本宙士	着付 林まゆみ
下座	三味線 豊澤順八	床山 松本匠平	衣裳 三浦恵美
太夫 竹本美芳	松本奈津美	松本真由美	松本衣裳
梅田寛之	安江和巨	佐野智哉	

# いざ、清流の国ぎふ文化祭 2024



- ◆ **特別プログラム**
- ◆ **勢揃いクロストーク**「熱演を振り返って」

これまでの上演映像とともに、楽しく振り返ります。学者、解説のプロフェッショナル、地歌舞伎を支える人、それぞれの視点からのトークで地歌舞伎の楽しみ方が更に広がります。

- 岐阜県地歌舞伎保存振興協議会会長 小栗 幸江氏
- 歌舞伎ソムリエ 小倉 健太郎氏
- 地芝居大國ぎふ応援大使 古典芸能解説者 葛西 聖司氏
- 南山大学名誉教授 東海学園大学客員教授 安田 文吉氏

### ◆幕切りの儀(閉幕式典)

◆ 出演 岐阜県知事 古田 肇  
岐阜県地歌舞伎保存振興協議会会長 小栗 幸江  
地歌舞伎保存会代表 三十二名



# 清流の国ぎふ 地歌舞伎 勢揃い公演

千種楽

中津川市阿木地区(旧阿木村)は、古くは安岐郷と呼ばれ江戸時代から地歌舞伎が盛んな地域でした。万延元年(一八六〇年)には村の中心部に芝居小屋「安岐座」が作られ、大正三年には「阿木公会堂」と名を変え、長年にわたり地歌舞伎などの催し物が盛大に行われていました。戦後も盛んに地歌舞伎公演が行われましたが、青年団などの活動が停滞すると、公演も下火となり、昭和五十七年には阿木公会堂も老朽化などを理由に取り壊されます。

その後、昭和六十年に阿木中学校体育館竣工記念として、久しぶりに地歌舞伎が上演されたのをきっかけに「安岐歌舞伎保存会」が結成されました。以後、子ども歌舞伎を中心に公演を行っていましたが、後継者不足もあり平成十二年の公演を最後に活動を休止しました。

令和三年三月の「勢揃い公演」を契機に、地域の地歌舞伎愛好家が集まり、活動を再開することになり、本公演で二回目の公演となります。今後も地歌舞伎を通じて地域の活性化につなげてまいります。



## 加子母歌舞伎保存会(中津川市)

加子母の歌舞伎は、娯楽の少ない農山村の人々にとって、江戸の頃から唯一の楽しみでした。明治二十七年には芝居小屋「明治座」が村人によって創建され、公演が盛んに行われました。しかし、大正時代の興行法や戦争中の娯楽の厳しい取り締まりにより、明治座での歌舞伎公演はしばらく休止することとなりました。

その後、各地の農村舞台が再び脚光を浴び始めた昭和四十七年、明治座が岐阜県重要有形民俗文化財に指定されました。これを契機に、昭和四十八年には、加子母の歌舞伎を愛する地元有志が集まって、「加子母歌舞伎愛好会」として再興し、公演を再開することができました。昭和四十九年には、「加子母歌舞伎保存会」と改称し、以降、毎年十月に明治座で定期公演を開催しています。

この間、資金や担い手不足など幾度も存続の危機がありました。しかし、地域の方々に保存会の会員になっていただくなど、子どもから大人まで地域一丸となって乗り越えてきました。



## イヤホン同時解説

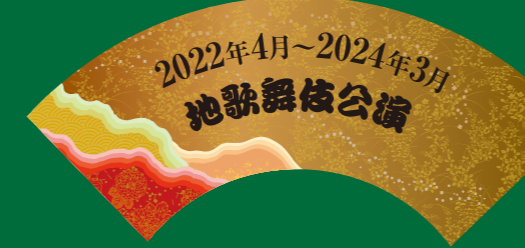
葛西 聖司氏

東京都出身。古典芸能解説者。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオで様々な番組を担当してきた。現在は、歌舞伎や能狂言など古典芸能の解説や講演、また日本伝統文化のセミナーを全国で開催している。「教養として学んでおきたい歌舞伎」、「教養として学んでおきたい能・狂言」、「僕らの歌舞伎」、「文楽のツボ」ほか著書多数。令和四年四月より地芝居大國ぎふ応援大使に就任。



## 地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。



恋女房染分手綱 重の井子別れの段 垂井曳軸保存会 | 5月28日



助六由縁江戸桜 三浦屋前 だち歌舞伎保存会 | 7月22日



義経千本松 吉野山道行の場 東座歌舞伎保存会 | 7月23日



鬼一法眼三略巻 五条橋の段 東美濃こども歌舞伎 | 5月28日



女暫 長瀬白山社社頭の場 岐阜歌舞伎保存会 | 7月22日



富士三樹孝子誉 由比ヶ浜の場 東野歌舞伎保存会 | 7月23日



2023年 源平布引滝 義賢最期 東白川村歌舞伎保存会 | 3月19日



繪本太功記 十段目 尼ヶ崎開居の場 いび祭りこども歌舞伎保存会 | 5月28日



菅原伝授手習鑑 車曳の場 蛸川歌舞伎保存会 | 7月23日



妹背山婦女庭訓 御殿の場 飯地五毛座歌舞伎保存会 | 9月9日



一谷嫩軍記 熊谷陣屋 中原歌舞伎保存会 | 9月9日



繪本太功記 十段目 尼ヶ崎の段 恵那文楽保存会 | 9月10日



弁天娘女男白浪 稲瀬川勢揃いの場 高雄歌舞伎保存会 奥州安達ヶ原 三段目 袖萩祭文 | 11月12日



坂手本忠臣蔵 三段目 足利館松の間刃傷の場-裏門合点の場 恵那歌舞伎保存会 | 9月10日



2024年 寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会 | 3月17日



平家女護島 鬼界ヶ島の場(俊寛) 加子母歌舞伎保存会 | 3月17日



清流の国ぎふ

# 地歌舞伎 勢揃い公演

30を超える保存会が盛んに活動する「地歌舞伎大國・岐阜」県内の地歌舞伎保存団体が、ぎふ清流座を舞台とし、順次熱演を披露してきました。各保存会の演目は、「ぎふ清流文化プラザ YouTube チャンネル」でもお楽しみいただけます。

**ぎふ清流文化プラザYouTubeチャンネル**

涙あり笑いあり、色とりどりの演目を「ぎふ清流文化プラザ YouTube チャンネル」でご覧いただけます。

地歌舞伎公演 好評配信中!

YouTube ぎふ清流文化プラザ

**地芝居の魅力発信「WEBミュージアム」**

保存団体による公演情報やアーカイブなど、魅力あふれるコンテンツを発信中!

[X(Twitter)] [Instagram] [Facebook]

地芝居大國ぎふ WEBミュージアム

2022年 青砥梅花紅彩画 稲瀬川勢揃いの場 常盤座歌舞伎保存会 | 4月30日



神雲矢口渡 頼兵衛住家の場 東濃歌舞伎中津川保存会 | 4月30日



浮世柄比翼輪妻 仲ノ町晴当の場 明智町歌舞伎保存会 | 7月24日



坂手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の場 坂下歌舞伎保存会 | 7月24日



傾城阿波の鳴門 どんとろ大師の場 可見歌舞伎 | 11月26日



傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段 岐南町伏屋獅子舞保存会 | 11月26日



伽羅先代萩 御殿より床下 美濃歌舞伎保存会 | 11月26日



青砥梅花紅彩画 浜松屋の場 飛騨市河合町歌舞伎保存会 | 11月27日



八嶋日記後日譚 日向島 鳳凰座歌舞伎保存会 | 11月27日



2023年 青砥梅花紅彩画 稲瀬川勢揃いの場 佐見歌舞伎公演実行委員会 | 3月18日



歌舞伎十八番の内 勸進帳 白雲座歌舞伎保存会 | 3月18日



寿式三番叟 山岡歌舞伎保存会 | 3月19日

